【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【公開番号】特開2015-211863(P2015-211863A)
【公開日】平成27年11月26日(2015.11.26)
【年通号数】公開・登録公報2015-074
【出願番号】特願2015-129840(P2015-129840)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｈ　3/46　(2006.01)
Ａ６３Ｈ　3/36　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｈ　3/46　Ａ
Ａ６３Ｈ　3/36　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成29年4月18日(2017.4.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１部分及び第２部分と、前記第１部分に対し前記第２部分を回動可能に連結する関節部を備え、
前記関節部は、回動軸部を有し、
前記第２部分は、前記回動軸部の外周を回動可能に包持する包持部が設けられたインナー部材と、前記インナー部材が挿入されるアウター部材とを有し、
前記第２部分は、前記アウター部材に装着される外装部材をさらに有し、
前記外装部材は、前記アウター部材に装着されたとき前記インナー部材に係合する模型。
【請求項２】
請求項１記載の模型であって、
前記インナー部材には係合凸部が設けられ、前記アウター部材には前記係合凸部を露出させる切り欠き部が設けられており、
前記切り欠き部は、前記インナー部材の前記アウター部材からの抜去方向に前記係合凸部と対向する側面を有し、
前記外装部材は、前記係合凸部と前記切り欠き部の前記側面との間に介在する係止片を有する模型。
【請求項３】
請求項１記載の模型であって、
前記インナー部材及び前記アウター部材には、前記インナー部材が前記アウター部材に挿入された状態で連通する孔が設けられており、
前記外装部材は、前記インナー部材及び前記アウター部材の各々の前記孔に挿通される係合凸部を有する模型。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明に係る模型は、第１部分及び第２部分と、前記第１部分に対し前記第２部分を回動可能に連結する関節部と備え、前記関節部は、一端が自由端とされた回動軸部を有し、前記第２部分は、前記回動軸部の外周を回動可能に包持する包持部が設けられたインナー部材と、前記インナー部材が挿入されるアウター部材とを有し、前記アウター部材は、該アウター部材に挿入された前記インナー部材の前記包持部に包持されている前記回動軸部の軸方向に該回動軸部を挟み込む一対の障壁部を有することを特徴とする。また、本発明に係る模型は、第１部分及び第２部分と、前記第１部分に対し前記第２部分を回動可能に連結する関節部を備え、前記関節部は、回動軸部を有し、前記第２部分は、前記回動軸部の外周を回動可能に包持する包持部が設けられたインナー部材と、前記インナー部材が挿入されるアウター部材とを有し、前記第２部分は、前記アウター部材に装着される外装部材をさらに有し、前記外装部材は、前記アウター部材に装着されたとき前記インナー部材に係合する。